



【国重文】南宮神社木造神像（一部） 右から女神2軀、童子形1軀、女神1軀、男神2軀

ふちゅう歴史散歩 Vol.160

南宮神社木造神像群の一般公開！

福山城にほど近い、広島県立歴史博物館では、夏休みと重なる7月12日から9月1日までの期間、夏の企画展「名宝が織りなす歴史物語―広島県の国宝・重要文化財―」が開催されています。

展示会では、近年指定された国宝・国重要文化財や広島県重要文化財とともに、府中市栗柄町の南宮神社の平安・鎌倉時代の木造神像群（国重文）の一部（15軀のうち6軀）が展示公開されています。いずれも造形が優れているだけでなく、歴史文化を次世代に継承すべき貴重なものばかりです。普段は目にする事がかなわない各時代の名宝や文化財を一堂に見られて、素敵な歴史散歩ができる、またとない機会となっています。

木造神像は、一見同じように見えますが、細やかに表情や年齢、衣装などの違いが表現されており、作者や当時の人の思いが伝わってくるようです。ぜひ間近で、その存在感と迫力に触れてみてください。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見！

「文化祭を終えて」

高校生編 その117



投稿者(文と写真)

府中高校2年生
眞谷 咲良さん

入学後すぐに生徒会執行部に入部し、2年生になってからは文化企画長を引き継ぎました。1、2年生の時に3年生の先輩が中心となって運営する文化祭を見ているのとは異なり、自分たちが中心となって先生方に質問に行ったり資料を制作したりしなくてはならず、中心となって行事を運営することの大変さと共に先輩方のすごさを実感しました。

文化祭運営で特に大変だと感じたのは資料の取り扱いです。配布する資料・提出させる資料共に多いため、種類ごとに分けてまとめたり、何年何組の資料・提出物なのか明確にさせたり

するようにして対処しました。また、こちらから各クラスへの指示が思っていた以上に伝わらなかったり、生徒会執行部への書類などの提出が滞ったりするクラスもありました。どうすればこの問題が解決できるかが来年度以降の課題だと思います。

文化祭の生徒一人一人が各々の得意分野でベストを尽くしている姿はまさに今回の文化祭のテーマである「飛翔～We are the one～」にふさわしい姿でした。この文化祭での経験を糧に今後の勉強や部活動・行事をさらに実りあるものにしていきましょう。

公式SNS



LINE



Facebook



Instagram



メール



府中市メール配信サービス



スマホアプリ My府中



iPhone



Android